

第2回 吹田市立やすらぎ苑指定管理者候補者選定委員議事内容

日時：令和4年10月5日（水）

午後1時10分から午後4時00分まで

場所：吹田市立男女共同参画センター 2階 第1会議室

<出席委員>

田中 晴美 接遇マナー・人材育成講師（学識経験者）

浅野 陽子 大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課課長補佐
（専門的知識又は経験を有する者）

大西 雅仁 箕面市市民部市民サービス政策室室長（専門的知識又は経験を有する者）

引地 健児 引地公認会計士事務所（公認会計士）

中嶋 聡 中嶋・河野総合会計事務所（中小企業診断士）

※委員5名中5名の出席により、吹田市立やすらぎ苑条例施行規則第20条第2項の規定である会議の開催要件を満たした。

<事務局>

楠本環境部次長 金尻環境政策室参事 西岡主幹 小川主査 山田係員

本委員会は非公開のため、傍聴者はなし

<次第>

- 1 選定方法の事前確認
- 2 提案説明・ヒアリング審査
- 3 指定管理者候補者及び次点者の選定について答申
- 4 その他

<配付資料>

- ・吹田市立やすらぎ苑指定管理者の選定方法について
- ・吹田市立やすらぎ苑指定管理者候補者選定評価採点表

<議事内容>

- (1) 選定方法の事前確認
事務局より選定方法について説明を行う。
- (2) 提案説明・ヒアリング審査

【応募者Aによるプレゼンテーション】

委員 新型コロナウイルス感染症に対する火葬の対応について、どのような取り組みをされているか教えてください。

応募者A 職員の安全管理やご遺族の宗教的な感情に配慮しながら感染を最大限に予防した火葬を行うように対応しています。

 具体的には、職員に対しては検温、うがいの啓発、発熱チェック等しながら発熱ならば出勤をしないよう対応しています。火葬に関しては、チームを発足させて、そのチームが専用に火葬に携わることで、他の社員に対する感染を抑止しています。利用者の方に対しては、入り口に検温機械の導入や会場の消毒、換気等行っています。また、職員にマスクを支給する等安心安全な業務の遂行をさせていただいています。

委員 周辺住民との交流に力を入れておられるようですが、今までの実績を教えてください。

応募者A 地域の清掃活動等各種地域のイベントに職員を参加させていただいております。

委員 施設の防犯についての考えを教えてください。

応募者A 夜間は機械警備を設置して対応します。日常的に地域の方とコミュニケーションを活発化することによって非常時に一報をいただけるという体制を交えることが重要だと思います。また、植栽管理を行うことによって影を作らないことが防犯上重要だと考えております。

委員 事業計画書24ページの自主事業について、骨壺の販売以外の物品を予定されているのか、また、今までの実績があれば教えてください。

- 応募者A 実績について、数珠や骨壺、マスク等を販売させていただいています。
- 委員 火葬を行う人員体制について教えてください。
- 応募者A 主にセレモニーを受け持つ職員は非正規職員で対応し、重要な火葬業務は正規職員で対応します。
- 委員 責任者も火葬業務を行いますか。
- 応募者A 火葬状況により対応させていただきます。
- 委員 過去3年分の決算報告書を見ると、利益が徐々に低下傾向ですが、その要因と昨今の光熱費の高騰についてどのように考えていますか。
- 応募者A 研修への使用や今回の応募にあたって人員を増やした体制をとっているためです。今年度については光熱費が高騰により各自治体において支援のお話をいただいておりますので、問題なく今年度は推移していくと考えております。
- 委員 緊急時の対応等何かあった場合のバックアップは、どのように考えていますか。
- 応募者A 施設職員で支えきれないような大規模な災害であれば、近隣もダメージを受けていると思いますので、本社から職員が来てすぐに対応ができるように6名程度準備しております。通常のインフラが通っている場合は通常の移動になり、通常のインフラが通ってない場合はヘリコプターで現地近くまで移動させることを考えています。
- 委員 大規模災害ではなく、新型コロナウイルス感染症のクラスターが職員の中で起きた場合はどのようにされますか。
- 応募者A まず、職員間の中でクラスターを発生させないように対応しています。もし、クラスターが発生した場合は本社から人員を派遣して、現場の対応をします。また、吹田市にも拠点を設けますので、その拠点も含めて、サポートができる体制を取ります。

- 委員 吹田市との連携についてはどのようにお考えですか。
- 応募者A 毎月必ず定められた日までに担当者の方に報告書を提出します。それ以外は定期的に調整会議を行い現状の火葬状況や中長期の修繕計画を5年間含めて立案、利用者からの要望等相互に情報共有しながら取り組んでいきたいと考えています。
- 委員 有価物の納入金額についてどれくらい考えていますか。
- 応募者A 火葬件数等により、有価物の量が変わりますので、金額は断言できません。私たちの本来の目的は有価物の回収ではなく、残された遺骨を丁寧に供養埋葬することに思いがあります。
- 委員 研修に関して、どのようなペースで行っているのでしょうか。
- 応募者A 事業計画書の46ページの一覧をご覧ください。また、研修で足りない部分、新たな社会的な需要に基づいたものが必要になればそれに対応できるようにしたいと考えています。
- 委員 研修の参加率は何%くらいでしょうか。
- 応募者A 火葬件数が落ち着く時期を見計らいながら全員に行います。
- 委員 夜間に異常事態が発生したとき現場に駆け付ける時間はどのくらいでしょうか。
- 応募者A 機械警備で異常を感知したら警報から15分の範囲の中で現場に駆け付けるようになっています。また、責任者や責任者から一報を受けた職員が現場に駆け付ける対応をさせていただこうと考えています。
- 委員 時間ではだいたいどれくらいですか。
- 応募者A 15分くらいです。

【すいた斎苑管理グループによるプレゼンテーション】

委員 新型コロナウイルス感染症に対する火葬の対応について、円滑に行うことができましたか。

すいた斎苑管理グループ 円滑に火葬を行うことができました。ただ、新型コロナウイルス感染症に対する火葬が増えた時期と火葬炉点検等が重なった時期は火葬枠が平常時より少なかったこともありましたが、先にならないと予約できない状況ではありません。

委員 通常の火葬はどうですか。

すいた斎苑管理グループ 円滑に火葬を行うことができています。

委員 新たに定めたルール等を葬儀業者に伝える手段についてお考えはありますか。

すいた斎苑管理グループ 吹田市と連携し伝えています。

委員 提案書の32、33ページの利用者の要望把握について、実績として利用者の声を聴いて改善された点を教えてください。

すいた斎苑管理グループ 利用者アンケートについてはその都度いただいたご意見は吹田市と共有して、対応できるものは対応しております。例えば、利用者の声によりハンガーラックを購入しました。

委員 周辺住民との共存についてどのように考えていますか。

すいた斎苑管理グループ 制服を着て週に1回に周辺緑地の清掃に出ています。そこでかけられた声を取り入れさせていただいております。

委員 人員配置計画について、非常勤職員を使わない理由を教えてください。

すいた斎苑管理グループ 高水準で管理運営を行うために、全て正職員での運用としています。

委員 今までの経験をどのような部分に活かしたいか教えてください。

すいた斎苑管理グループ 骨壺の風呂敷の結び方等細かいニーズがあるので、現場でヒアリングしながら行っています。

委員 各種研修についてどのように行っていますか。

すいた斎苑管理グループ 全員が参加できるように計画的に行っています。

委員 参加率はどうですか。

すいた斎苑管理グループ 100%です。新型コロナウイルス感染症の拡大により、複数人を集めて研修することを控えていた時期は1対1で行いました。これからはリモートの講義やDVDとしてまとめていく等計画しております。

委員 利用者アンケートの回収率はどうなのでしょうか。

すいた斎苑管理グループ 回収率はそこまで高くありません。そのため、家に帰ってからもアンケートを回答できる等回収率を上げるための検討を行っています。

(3) 指定管理者候補者及び次点者の選定について答申

平均点60点を超え第1位と評価した委員が多いすいた斎苑管理グループを指定管理者候補者に選定。また、第2位に順位付けされた応募者Aを次点者に選定。